連載漫画ネタ募集のお知らせ

編集委員会では連載漫画用のネタを募集しております．
日常で感じた漫画化してほしい「IT あるある」ネタを以下の投稿フォームからお気軽に投稿してください．
単純なネタ，ストーリーのどちらでも結構です．またフォームの中でコマ割の希望を文章で書いていただいてもかまいません．

例：（説明：2 のべき乗が好き）
1 コマ目：受付番号 256 番，2 コマ目：お会計 1,024 円，
3 コマ目：宝くじ 4294967296（2 の 32 乗），4 コマ目：上司から「会社辞めないで〜」（オチ）

連載漫画ネタ募集のお知らせ（IT あるあるネタ投稿用フォーム）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/itaruaru.html

ラフ案の画像（簡単なものでかまいません）をお送りいただくこともできます．
画像の場合はお手数ですが，ネタの説明とともに情報処理学会 会誌編集部門（editj@ipsj.or.jp）までメールでお送りください．

みなさまからの楽しいネタの投稿をお待ちしております．

※お送りいただいたネタは原案とし，作品の著作権は情報処理学会に帰属するものとします．
※採用された方には記念品を贈呈いたします（複数の方から同じネタの投稿があった場合は抽選とさせていただきます）．

会員の広場
Member's Voice

今月の会員の広場では，1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，巻頭コラム「研究の出口戦略」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■大変刺激になりました．若手の意識改革と，構造的な問題を緩和する仕組み作りの両方が必要だと思います．（匿名希望）

特集「自然言語処理技術の現状と展望」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■扱うテーマが多すぎるためか，個々の記事がダイジェスト版となっていて読み応えに欠けた．今後，より詳しい特集を望みます．（匿名希望）

■近年行き詰まり感があると思っていましたが，最近の新しい研究をいくつか紹介されていて大変参考になりました．（匿名希望）

■各タスクの概要，技術課題，展望が，例示を用いつつ分かりやすく説明されていて役に立ちました．すべての記事で盛り込む内容が統一されている上，主要な技術課題に絞った説明が徹底されており，とても読みやすかったです．（匿名希望）

■英文校正や日本語校正，翻訳の技術は興味が持てる．（匿名希望）

■問題解決のために今後具体的にどうすべきかということを知りたかった．（島野顕継）

■各項目が見開きでの説明だったので，文章量が少なく残念であった．（辻合秀一）

■英語での自然言語処理技術は，スマホなどで日常的に利用可能なレベルに達しており，さらなる普及が見込まれていると聞いています．日本語での処理についてはあまり聞いたことがなかったので，今回の特集は役立ちました．とりあえず，「東ロボ」には頑張ってほしいと思います．（匿名希望）

■タイムリーな特集で期待して拝読しましたが，1つ1つの記事が浅く残念でした．トピックスを絞り，いくつかは深堀りするかたちが望ましいです．（匿名希望）

■日本語という曖昧な言語を処理するのは至難の業．形式化すると逆に分かりにくく，冷たく固い表現になり，共感が得られない．完全自動翻訳ができるまでの道のりはまだ遠い．こういった1つ1つの分析の積み重ねで実現できることを期待している．（高橋尚子）

■ Project Next NLP という活動があることを初めて知りました．これからの人とコンピュータとのインタフェース（コミュニケーション）に重要な役割があると思いました．（匿名希望）

■大変広い分野のそれぞれの問題を一度に読んだので，理解しづらいこともありましたが，展望が見られて勉強になりました．1～2年後に，さらに研究を進めた成果を読んでみたいと思います．（匿名希望）

■非専門家でも状況を把握できた．（匿名希望）

「3.8　Project Next IR」

■実際の検索で失敗するのは関係ないたくさんの広告の出現であり，そのための時間の浪費である．「検索失敗分析」より，広告のカットシステム作成の方が実用的である．それを月500円程度で導入できればと思う．（匿名希望）

「3.13　ロボットは東大に入れるか」

■研究テーマとしては良いかもしれないが，もう少し実用化の切り口での論文を期待します．（生駒勝幸）

■新聞記事よりは詳細に東ロボのことが分かった．（匿名希望）

「3.14　翻訳」

■現時点のオープンソースソフトを用いた翻訳に関する課題やレベルなどが，オープンソースごとに比較されており知的興味がわいたことと，実用化に向けた視点でのレベル把握もあわせてでき良かった．さまざまなテーマでもこの視点での記事を見てみたい．（生駒勝幸）

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：和田英一氏インタビュー」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■先達の教えとして毎回楽しみにしているが，インタビュー実施から数年経過しないと掲載できないものなのでしょうか（今回は7年以上経過）．（島野顕継）

連載「女子部が行く！ ―学会探訪記―：第5回　調査研究運営委員会」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■最初の頃の記事は良かったが，毎回同じようで興味が持てない．（匿名希望）

教育コーナー「ぺた語義：横須賀市の『小学生プログラミング体験教室』の現場で見える風景」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■私は「子どもたちがこの場に居合わせることを可能にした条件」を満たすよう無意識に行動していたのですが，確かにそういう保護者ばかりではないわけで，胸に刺さります．（匿名希望）

■ IT の教育において必要となる端末やネットワークは，家庭の経済状況の影響を少なからず受ける．機会の均等という意味で，紙と鉛筆で補える他教科にはない課題があることを発見できた．（伊藤　誠）

連載「ビブリオ・トーク：Cooking for Geeks」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■情報処理が意外なところで活用されており興味深い．（匿名希望）

■いつも楽しみにしています．今回の『Cooking for Geeks』も，購入してみようと思います．（匿名希望）

会議レポート「ICFP 2015 参加報告」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■会議内容についてもっと深く取り上げて欲しかった．（匿名希望／ジュニア会員）

連載「会誌編集委員会女子部」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■大変共感できました．私も研究活動はすべて旧姓です．半プライベートな活動のときや，もし転職したらキャリアの名寄せができなくなるのでは，など時折悩むことがあり，こうした問題が解決されると良いと願っています．（匿名希望）

連載漫画「IT 日和」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■共感できましたが，この記事の目的がやはり腑に落ちません．（匿名希望）

■「あるある」と思いながら読みました．（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■最新のロボットの実用化に関して，技術動向だけでなくマーケット上での事例や効果・課題の視点で深堀りした特集を期待します．（生駒勝幸）

■最先端の内容をもう少し多く盛り込んでほしい．（山根　智）

■バイオインフォマティクスの今と将来についての記事が読みたい．（匿名希望／ジュニア会員）

■ AI，ディープラーニングは一般に非常に関心が高まっており，今回特集内で取り上げられた「東ロボ」については興味を持っています．今後も関連の報告を継続いただければと思います．（阿部一晴）

■金融分野での最新の IT 活用方法に関する特集を希望します．（西澤　格）

■最近話題になったロボット・システムなどの開発裏話の特集があると興味深いです．また，今月から表紙も変わりましたが，学会にもイメージキャラクタがいると親しみやすくなると思います．（匿名希望）

■研究室運営に関するテーマなどを取り上げてほしいです．（匿名希望）

■会議レポートはいつも興味深く拝見しています．国内外の主要な会議やイベントもカバーしていただけると，参加・投稿先を検討する上で有益です．（匿名希望）

■ビデオゲームの特集があるといい．（匿名希望／ジュニア会員）

■プログラミング機械学習入門コースのような半年ぐらいの特集を組んでほしい．（匿名希望）

【本欄担当　花田英輔，田坂和之／会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html > にも掲載しています．Web 版では，紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので，ぜひ，こちらもご参照ください．
会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，
・記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言
・その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言
など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
なお，「道しるべ」については
<URL：http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> で
これからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．
※ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．　なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
<URL：http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

応募先　〒 101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
一般社団法人　情報処理学会　会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp　Fax (03) 3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html

ご意見をお寄せください！

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「社会を繋げるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-C.html	3月31日（木）		
	論文誌「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-D.html	4月1日（金）		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-E.html	5月9日（月）		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-J.html	5月12日（木）		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-F.html	8月10日（水）		
3月14日（月）～ 3月15日（火）	第191回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se191.html	1月20日（水）	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
3月14日（月）～ 3月15日（火）	第98回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn98.html	1月29日（金）	当日のみ	大妻女子大学 千代田キャンパス
3月16日（水）	第183回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics183.html	2月4日（木）	当日のみ	名古屋工業大学
3月16日（水）～ 3月18日（金）	第39回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec39.html	1月15日（金）	当日のみ	京都大学
3月18日（金）～ 3月19日（土）	第45回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio45.html	2月9日（火）	当日のみ	北陸先端科学技術大学院
3月24日（木）	第122回情報基礎とアクセス技術・第101回ドキュメントコミュニケーション合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat122dc101.html	1月31日（日）	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
3月24日（木）～ 3月25日（金）	第211回システム・アーキテクチャ・第175回システムとLSIの設計技術・第40回組込みシステム合同研究発表会（ETNET2016） http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc211sldm174emb40.html	1月13日（水）	当日のみ	福江文化会館／ 勤労福祉センター
4月25日（月）～ 4月26日（火）	第154回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc154.html	3月4日（金）	当日のみ	海洋研究開発機構
5月9日（月）～ 5月10日（火）	第212回システム・アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc212.html	3月11日（金）	当日のみ	宇奈月 杉乃井ホテル
5月11日（水）	第176回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm176.html	3月8日（火）	当日のみ	北九州国際会議場
5月12日（木）～ 5月13日（金）	第202回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim202.html	3月7日（月）	当日のみ	立命館大学・大阪いばらきキャンパス
5月12日（木）～ 5月13日（金）	第99回グループウェアとネットワークサービス・第18回 セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会	3月19日（土）	当日のみ	東京大学 駒場IIキャンパス
5月26日（木）～ 5月27日（金）	第73回コンピュータセキュリティ・第33回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec73iot33.html	3月11日（金）	当日のみ	とりぎん文化会館
6月6日（月）～ 6月7日（火）	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム（HPCS2016） http://hpcs.hpcc.jp/	1月29日（金）		東北大学 片平キャンパス
6月9日（木）～ 6月10日（金）	第109回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro109.html	4月8日（金）	当日のみ	浜松市福祉交流センター
7月6日（水）～ 7月8日（金）	マルチメディア，分散，協調とモバイル（DICOMO2016）シンポジウム http://dicomo.org/	3月22日（火）		鳥羽シーサイドホテル
9月7日（水）～ 9月9日（金）	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/	4月13日（水）		富山大学 五福キャンパス

Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

2 月 15 日	人材募集情報（Vol.57 No.3）
2 月 15 日	会誌「情報処理」Web カタログ（Vol.57 No.3）
2 月 15 日	論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
2 月 15 日	論文誌「組込みシステム工学」特集 論文募集
2 月 13 日	デジタルプラクティス「ICT とダイバーシティ社会」特集論文募集
2 月 2 日	ソフトウエアジャパン 2016 ニコニコ動画生放送します
2 月 1 日	2016 年度役員改選の投票について
2 月 1 日	2016 年度代表会員の選出について

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書に記載する「宛名」，Web 掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］）を添えて下記の申込先へ，E-mail，Fax または郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

申込期限：毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

掲載料金：

国公私立教育機関，国公立研究機関	税抜 20,000 円	（税込 21,600 円）
賛助会員（企業）	税抜 30,000 円	（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業	税抜 50,000 円	（税込 54,000 円）

＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます．

申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■千葉工業大学工学部情報通信システム工学科

募集人員　教授，准教授または助教　1名
所　　属　工学部情報通信システム工学科（平成28年度新設）
専門分野　通信分野（通信方式，通信プロトコル，ネットワーク制御，通信用ハードウェアなど）
担当科目　通信理論，信号処理論，学生実験，卒業研究など
応募資格　博士の学位を有することなど
着任時期　2016年9月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，活動実績と抱負，所見を伺える方2名の連絡先
応募締切　2016年4月15日（必着）
送付先／照会先　情報通信システム工学科　中静　真　E-mail: nkszk@sky.it-chiba.ac.jp
そ の 他　必ず下記のWebサイトで詳細を確認した上で，応募してください
公募情報 千葉工業大学 教職員募集　http://www.it-chiba.ac.jp/institute/adoption/index.html

■（株）豊田中央研究所

募集人員　客員研究員　1名（1年ごとの契約更新，最長3年）
職務内容　デザインと工学の融合による電子装置の開発
専門分野　デザイン工学，電子工学
応募資格　電子工作およびプログラミング経験のある，修士または博士の学位を有する方
着任時期　2016年4月1日～（応相談）
応募締切　2016年4月30日（順次選考，採用が決定次第終了）
提出書類　(1)履歴書，(2)職務歴（研究実績），(3)論文リスト，(4)主要論文別刷（コピー可）　※職務内容を明記の上，お送りください
送付先／照会先　〒480-1192 愛知県長久手市横道41-1　（株）豊田中央研究所　人材開発室　採用担当
E-mail: saiyo@mosk.tytlabs.co.jp　Tel(0561)63-6509　Fax(0561)63-5744
＊応募書類は返却いたしません．応募の秘密は厳守いたします
そ の 他　勤務形態：常勤，裁量労働制，標準時間8：30～17：30（12：00～13：00休憩）
給　　与：年俸制　※経験・能力を考慮し，当社規定により決定します
Webページ：http://www.tytlabs.co.jp/
採用情報ページ：http://www.tytlabs.co.jp/recr/kyakuin.html

FIT2016 講演募集案内
第 15 回情報科学技術フォーラム

Web サイト http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/

【会期】2016 年 9 月 7 日（水）～9 日（金）
【会場】富山大学　五福キャンパス（富山市）

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2016 年 9 月には第 15 回目を富山大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道！
「査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致します。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2016 年 6 月 17 日（金）に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

〔FIT 論文表彰制度〕

FIT には、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**FIT ヤングリサーチャー賞**、**FIT 奨励賞**からなる論文表彰制度があります。

皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文**3 件**を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2016 会期中)にて**賞金 20 万円**を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経た論文の中から受賞論文**数件程度**を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2016 会期中)にて**賞金 5 万円**を FIT 運営委員会より贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2016 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には**賞金 3 万円**を次回の FIT2017 の表彰式にて FIT 運営委員会より贈呈。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定(該当なしもあり)。受賞者には、当該 FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈。

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること

〔申込みの方法・注意事項〕

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2016Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

〔講演募集内容〕

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、査読付き論文と一般論文があります。

査読付き論文（4～8 ページ程度）
査読付き論文（論文誌推薦希望）（6～8 ページ程度）

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います（一般論文での発表となります）。
【注 2】査読付き論文を受け付ける研究分野（研究会）については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。
【注 3】査読付き論文を受け付ける研究分野（研究会）の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。
【注 4】申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い(研究会違い）と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト（即不採録）され一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。
【注 5】査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト（即不採録）され一般論文扱いとなります。
【注 6】査読付き論文（論文誌推薦希望）でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、査読付き論文としてのみの査読になります。
【注 7】御自身の論文内容と一致した分野（査読受け入れ研究会）がない場合には、申し訳ございませんが査読付き論文として受け入れることができませんので、一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程
登録申込／投稿受付開始：2016 年 3 月　2 日（水）
登録申込締切／査読用原稿の投稿締切
：2016 年 4 月 13 日（水）
査読の採否結果通知　：2016 年 6 月 17 日（金）
論文誌への推薦可否結果通知（推薦希望者のみ）
：2016 年 6 月 17 日（金）
最終原稿投稿締切　：2016 年 6 月 27 日（月）

一般論文（2～8 ページ程度）

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。
また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■申込主要日程
登録申込／投稿受付開始：2016 年 4 月 20 日（水）
登録申込締切　：2016 年 5 月 19 日（木）
最終原稿投稿締切　：2016 年 6 月 27 日（月）

〔募集分野〕

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

査読付き論文の募集は行わず一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

　　は査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

●A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
A-1　☆アルゴリズム(AL)
A-2　☆数理モデル化と問題解決(MPS)
A-3　☆プログラミング(PRO)
A-4　※コンピュテーション(COMP)

●B:ソフトウェア
B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
B-4 ☆ドキュメントコミュニケーション(DC)
B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
●C:ハードウェア・アーキテクチャ
C-1 ☆システムと LSI の設計技術(SLDM)
C-2 ☆システム・アーキテクチャ(ARC)
C-3 ☆組込みシステム(EMB)
C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
●D:データベース
D-1 ☆データベースシステム(DBS)
D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
D-3 ※データ工学(DE)
●E:自然言語・音声・音楽
E-1 ☆自然言語処理(NL)
E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
E-5 ※音声(SP)
●F:人工知能・ゲーム
F-1 ☆知能システム(ICS)
F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
●G:生体情報科学
G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
G-3 ※ME とバイオサイバネティックス(MBE)
G-4 ※医用画像(MI)
●H:画像認識・メディア理解
H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
H-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)
●I:グラフィクス・画像
I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
I-4 ☆デジタルコンテンツクリエーション(DCC)
I-5 ※画像工学(IE)
●J:ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
J-2 ☆高齢社会デザイン(ASD)
J-3 ※異文化コラボレーション(IC)
J-4 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
J-5 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
J-6 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
J-7 ◇ヒューマンプローブ(HPB)
●K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
K-1 ※教育工学(ET)
K-2 ※サイバーワールド(CW)
K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
●L:ネットワーク・セキュリティ
L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
●M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
M-3 ☆モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム(MBL)
M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
M-6 ☆コンシューマ・デバイス＆システム(CDS)
●N:教育・人文科学
N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)
●O:情報システム
O-1 ☆情報システムと社会環境 (IS)
O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
O-4 ※サービスコンピューティング時限(SC)
O-5 ※減災情報システム時限(DRIS)

〔使用言語〕
日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕
一般論文ページ数: 2～8 ページ程度
査読付き論文ページ数:4～8 ページ程度
査読付き論文(論文誌推薦希望):6～8 ページ程度
※3 ページ目以降から 1 ページ当り 4,000 円の追加ページ代が発生します。例えば 4 ページ投稿の場合、2 ページ分の追加ページ代が発生するため、講演参加費の他に「4,000 円×2＝8,000 円」の追加費用が必要となります。
講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分、質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕
査読付き論文、一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の会員区分〕
講演者の会員区分は以下のとおりです。

会　員	電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS 、VDE/ITG 、KIEES 、CIC 、IEEE/PHO 、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み)〕
講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ分、講演料、聴講料、論文集 DVD－ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD－ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。
また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くことになりますので御注意下さい。

正会員	12,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	24,000 円
学生非会員	12,000 円

〔追加ページ代（税込み)〕
3 ページ以上投稿された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。
追加ページ代: 1 ページ当り 4,000 円

〔別刷代（査読付き論文の採択者のみ）（税込み)〕
査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100 部)を御購入頂くことができます。別刷代は、追加ページの有無に関わらず 22,000 円で講演申込時に同時受付致します。

〔講演者予稿分冊頒布〕
講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り 9,000 円で講演申込時に同時受付致します。
なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 13,000 円、団体購入の場合 16,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕
FIT2016 に関する最新情報は、FIT2016Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.57 No.3（Mar. 2016）

【特集：学生・若手研究者論文】

■ 特集「学生・若手研究者論文」の編集にあたって　乾健太郎
■ 複数の一貫性レベルを保証可能なバックエンドベースデータレプリケーション　太田　篤 他
■ A Reliable Volunteer Computing System with Credibility-based Voting　Takeshi Sakai 他
■ シミュレーションキャッシングフレームワークの実装　山本　優
■ Fail-Stop Signatures for Multiple-Signers: Definitions, Constructions, and Their Extensions　Nobuaki Kitajima 他
■ 標的型攻撃に対するインシデント対応支援システム　長谷川皓一 他
■ A Practical and Efficient Overhearing Strategy for Reliable Content Distribution over a Single Hop Ad Hoc Network　Hiroaki Yokose 他
■ Toothbrushing Performance Evaluation Using Smartphone Audio Based on Hybrid HMM-Recognition/SVM-Regression Model　Joseph Korpela 他
■ An extension for bounded-SVD - a matrix factorization method with bound constraints for recommender systems　Bang Hai Le 他
■ フローグラフからの手順書の生成　山崎健史 他
■ Simultaneous Segmentation of Multiple Organs using Random Walks　Chunhua Dong 他
■ Efficient Coding for Video Including Text Using Image Generation　Yosuke Nozue 他
■ 四肢キャラクタ間の衣装転写システムの提案　成田史弥 他
■ 吹奏楽団向け電子譜面システム PEANUTS のための譜めくり担当者選定アルゴリズム　飯島安恵 他
■ Concept Tailor: ストーリーボードを用いた反復型サービスコンセプト具体化ツール　草野孔希 他
■ Magnet or Sticky? Measuring Project Characteristics from the Perspective of Developer Attraction and Retention　Kazuhiro Yamashita 他
■ 個人志向と社会志向が共存するサードプレイスの形成メカニズムの研究　山田広明 他
■ Traffic Light Detection Considering Color Saturation Using In-Vehicle Stereo Camera　Hiroki Moizumi 他
■ Random Dropout と Ensemble Inference Networks による歩行者検出と標識認識　福井　宏 他
■ 児童による音読の流暢性自動評価手法　瀧田寿明 他
■ Lecturer Based Supportive Tool Development and Approaches for Learning Material Sharing under Bandwidth Limitation　Irwan Alnarus Kautsar 他
■ 仮想マシンを活用したネットワークセキュリティ学習支援システムの実装と評価†　福山和生 他
■ 知的照明システムにおける照度／光度影響度係数の稼働ログデータによる推定　上南遼平 他

【特集：クラウド時代のインターネットと運用技術】

■ 特集「クラウド時代のインターネットと運用技術」の編集にあたって　中村素典
■ 大学におけるクラウド前提の学術情報基盤への移行と分析　前田香織 他
■ Risk Adaptive Authorization Mechanism (RAdAM) for Cloud Computing　Doudou Fall 他
■ 広域分散システムの耐障害性を評価する検証プラットフォームの実装と評価　北口善明 他
■ Comparison of Distance Limiting Methods for Risk-aware Data Replication in Urban and Suburban Area　Takaki Nakamura 他
■ 一般組織において地理的に分散配置した複製サーバのフェイルオーバ・フェイル バックを可能にする冗長化構成　大隅淑弘 他
■ ネットニュースシステムを利用した耐障害性の高い電子メールサービスの提案　石橋由子 他
■ 大規模 IPv6 無線 LAN におけるマルチキャストパケットの実態とその影響分析　前田香織 他
■ 自動構成機能を有する大規模キャンパスネットワーク管理システムの実装と評価　近堂　徹 他
■ Shibboleth による認証フェデレーションのための認証方式グループ化機能の開発　河野圭太 他
■ 不審活動の端末間伝搬に着目した標的型攻撃検知方式　川口信隆 他

【一般論文】

■ The Simplest and Smallest Network on Which the Ford-Fulkerson Maximum Flow Procedure May Fail to Terminate　Toshihiko Takahashi
■ A Multicast Tree Management Method Supporting Fast Failure Recovery and Dynamic Group Membership Changes in OpenFlow Networks　Daisuke Kotani 他
■ Bayesian Non-parametric Inference of Multimodal Topic Hierarchies*　Takuji Shimamawari 他
■ 学生のグループ特性を考慮した群衆歩行シミュレーションと教室配置最適化への応用　播磨大輝 他
■ 複雑ネットワークにおける選択的攻撃の影響と媒介中心性を考慮した修復手法*　有澤俊裕 他
■ 関連語知識獲得のための対話システム上の連想ゲームのデザイン　町田雄一郎 他
■ 文脈と意味の対応密度最大化による教師なし語義曖昧性解消　谷垣宏一 他
■ 低ランク DNN 音響モデルの騒音下音声認識での評価と系列の識別学習　太刀岡勇気 他
■ 短時間で測定可能な嗅覚能力のスクリーニング検査法　本間秀太郎 他
■ 高齢者の協調動作をトレーニングするためのゲームシステム　林　勇希 他

*：推薦論文　Recommended Paper
†：テクニカルノート　Technical Note

IPSJ MAGAZINE Vol.57 No.4 (Apr. 2016)

CONTENTS

Preface

Research Papers from the View of "Boke" and "Tsukkomi"
ThankyouTatsuo

IPSJ Editorial Committee Special

330 Design Project for Hand Launching Gliders - Interactive Design and Optimization of Free-formed Airplanes -
Nobuyuki UMETANI (Autodesk Research)

Special Article

335 Computer Go Exploiting Deep Learning - The Technology of Alpha Go and Future -
Takeshi ITO and Masakazu MURAMATSU (Univ. of Electro-Communications)

Special Features

Discussion on the Way of Computer Programming Education

338 0. Foreword
Takeo TATSUMI (The Open Univ. of Japan)

340 1. Concept, Characteristics and Goals of Programming Education / Learning
Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)

344 2. Programming Education with Computer Science which can be Understood by Children - Case Study of Viscuit -
Yasunori HARADA (Digital Pocket LLC)

349 3. Creativity of Children and Coding for Learning
Kazuhiro ABE (Aoyama Gakuin Univ.)

354 4. Programming Education in Junior High School
Yukio IDOSAKA (Iitakanishi Junior High School)

358 5. Programming Education in Senior High School
Wataru NAKANISHI (Nagoya Senior High School)

362 6. Programming Education as a University-wide Liberal Arts in the University of Tokyo
Akimasa MORIHATA (The Univ. of Tokyo)

366 7. First-Year Programming Course at Keio SFC
Takashi HATTORI (Keio Univ.)

370 8. Programming Education for the First-year Undergraduates at Future University Hakodate
Yoshiaki MIMA (Future Univ. Hakodate)

Articles

374 Information Handling for Consumer Generated Recipe
Yoko YAMAKATA (The Univ. of Tokyo) and Shinsuke MORI (Kyoto Univ.)

384 Developing Convenience Store ATMs as Social Infrastructure
Takashi MATSUDA (NEC Corp.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

390 Oral History : Interview with Hideo Aiso
Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Chigusa KITA (Kansai Univ.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.), Toshio MATSUNAGA (Tokyo Univ. of Technology) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

401 Three Types of Intelligence in Cyber Security
Ryoichi SASAKI (Tokyo Denki Univ.)

398 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -
402 Biblio Talk
403 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine
404 Conference Report

論文誌トランザクション掲載論文リスト（Mar. 2016）

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.9 No.1】

■ 性能向上を期待できる継続時間と IO アクセス数を満たした IO アクセス集中領域を自動抽出して SSD に移動することで性能向上を図る階層型ストレージシステムの提案と評価
大江和一 他

■ Scalable Work Stealing of Native Threads on an x86-64 Infiniband Cluster
Shigeki Akiyama 他

■ 演算加速機構を持つクラスタ向け PGAS 言語 XcalableACC の評価
田渕晶大 他

■ Pregel グラフ処理系におけるメッセージ配送最適化
上野晃司 他

■ A Case for Static Analysis of Linux to Find Faults in Interrupt Request Handlers
Takeshi Yoshimura 他

【Transactions on Bioinformatics Vol.9】

■ Prediction of gene structures from RNA-seq data using dual decomposition
Kengo Sato 他

■ Linear and Nonlinear Regression for Combinatorial Optimization Problem of Multiple Transgenesis
Daisuke Tominaga 他

■ Signal source and functional connectivity of neurophysiological correlates of temporal mental orientation during natural language processing
Takahiro Soshi 他

【論文誌 データベース Vol.9 No.1】

■ クラウド環境におけるデータベースライブマイグレーションミドルウェア
三島　健 他

■ Dictionary learning by normalized bilateral projection
Taro Tezuka

■ トレンドキーワードに関するウェブリソースの横断的分析
吉田光男 他

ご意見をお寄せください！

【4 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　一般社団法人 情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html　Fax(03)3518-8375　E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）
※ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

［コード］

〔1〕ご氏名

〔2〕ご所属　　Tel.（　　）　　-

〔3〕E-mail:

〔4〕業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関　（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生　（f）学生（ジュニア会員）（g）その他…… 4- [　　]

〔5〕職種：（a）研究職　（b）開発・設計　（c）システムエンジニア　（d）営業　（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職　（g）教職員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生　（j）学生（ジュニア会員）（k）その他 …… 5- [　　]

〔6〕年齢：（a）10 代　（b）20 代　（c）30 代　（d）40 代　（e）50 代　（f）60 代以上 …… 6- [　　]

〔7〕性別：（a）男性　（b）女性 …… 7- [　　]

〔8〕あなたはモニタですか？：（a）はい　（b）いいえ　…… 8- [　　]

〔9〕あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望　（c）掲載を希望しない …… 9- [　　]

〔10〕今月号（2016 年 4 月号）の記事は良かったですか．下記の記事すべてについて評価をご回答ください．
［ a …大変良い　b …良い　c…普通，どちらとも言えない　d …悪い　e…読んでいない ］

巻頭コラム：ボケとツッコミという視点で捉える研究論文…… 10-1- [　　]
編集委員会特別企画：紙飛行機デザインプロジェクト…… 10-2- [　　]
特別解説：ディープラーニングを用いたコンピュータ囲碁…… 10-3- [　　]
特集：プログラミング入門をどうするか
1. プログラミング教育／学習の理念・特質・目標 …… 10-4- [　　]
2. 小学生に分かるコンピュータサイエンスとしてのプログラミング教育 …… 10-5- [　　]
3. 子供の創造的活動とプログラミング学習 …… 10-6- [　　]
4. 中学校におけるプログラミング教育 …… 10-7- [　　]
5. 高校におけるプログラミング教育 …… 10-8- [　　]
6. 東京大学における全学プログラミング教育 …… 10-9- [　　]
7. 慶應義塾大学 SFC における初年次プログラミング教育 …… 10-10- [　　]
8. 公立はこだて未来大学における初年度プログラミング教育 …… 10-11- [　　]
ユーザ投稿型レシピの情報処理…… 10-12- [　　]
社会インフラとしてのコンビニ ATM の取り組み …… 10-13- [　　]
古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：相磯秀夫氏インタビュー…… 10-14- [　　]
女子部が行く！：新世代企画委員会…… 10-15- [　　]
IT 好き放題：サイバーセキュリティにおける 3 つのインテリジェンス　…… 10-16- [　　]
ビブリオ・トーク：ぼくの命は言葉とともにある…… 10-17- [　　]
会誌編集委員会女子部…… 10-18- [　　]
会議レポート：じんもんこん 2015 開催報告 …… 10-19- [　　]
連載漫画：IT 日和…… 10-20- [　　]

〔11〕本号で最も良かった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．
〔11-1〕良かった記事 …… 11-1- [　　]
〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 11-2- [　　]
〔11-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 11-3- [　　]
a) 技術・研究動向がよく分かった　b）知的興味をかきたてられた　c) 新たな知識を得ることができた　d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．

〔12-1〕良くなかった記事 …… 12-1-［　　］

〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 12-2-［　　］

〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 12-3-［　　］

a) 記事の内容に誤りがあった　b) ありきたりの内容だった　c) 記事が難しすぎた　d) 何を言いたいのか分からなかった　e）宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味が持てなかった　g）その他（下記に具体的にご記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください．

〔13-1〕プログラミング入門をどうするか：a）専門家　b）非専門家 …… 13-1-［　　］

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください．

〔15〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください．
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部）　※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス）の編集・査読，DP レポート，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
図　書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／ JIP ／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，アクレディテーション対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナ，短期セミナ，IT フォーラム，ソフトウエアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザリーボード
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1 での情報技術の標準化業務 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

かつてプログラミングは「専門家やその卵だけが学ぶ」ものであり，したがってプログラミング入門教育を受ける人数はかなり限られていた．しかし近年になって，大学では情報系・理工系以外の専攻の学生でもプログラミングを学ぶことが増えており，さらに高校・中学でも教育課程の中でプログラミングが内容として含まれるようになった．

今回の特集ではこのような状況を受け，「何のためにプログラミングを学ぶのか」「実際にどのような学び方が望ましいのか」を具体的な事例とともに紹介している．事例としては小学校から大学初年度までをカバーしているが，いずれも単なる報告ではなく「何を目標としているか」「どのような工夫をしているか」などの点も含めていただくようにお願いした．

本特集は当初，事例の紹介と最後にまとめの短い解説という構成で企画したが，編集委員会から「冒頭で体系的な解説を」との要望があり，それを受けてエディタの１人として「プログラミング学習の目標は何か」について執筆した．これは結果的に自分の考えを整理するよい機会となった．原田氏，阿部氏は我が国の初等教育段階でのプログラミング学習／教育に熱心に取り組まれている代表的なお二人であり，それぞれ違う切り口から，このテーマの本質に関する議論を寄稿いただけたことは大変ありがたかった．中学校以降を取り上げた５編の解説についても，単なる事例紹介にとどまらず，熱心に実践されている著者の先生がたの思いやさまざまな工夫が反映された興味深い内容となっている．どの著者の方も，企画の遅れや年末進行で通常より短い執筆期間の中，読者の多様な関心に応える原稿を提供いただけたことに，深く感謝したい．

担当エディタとしては，本特集を読まれた方がさまざまな機会にプログラミング入門にかかわったとき，ここで挙げられている知見を活かしていただき，入門する人たちがより幸せであるような形でプログラミングが世の中に広まっていくことを願っている．

（久野　靖／本特集エディタ）

詳しくは http://www.ipsj.or.jp/ をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます．

会員募集中!!

申込／照会先　一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail: mem@ipsj.or.jp

次号（5 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」自動運転システムにおける情報処理技術の最新動向

自動運転の動向／環境認識（認知）技術／経路計画（判断）技術／安全安心な走行を実現する自律運転知能システムの運動計画と制御／自動運転ソフトウェア―オープンソースソフトウェアの利活用―／自動運転に関する法規制と実証実験

「ミニ特集」IT 日和

解説：次世代人工知能技術研究開発……本村陽一
　　人はどういうものを似ていると思うのか？―時系列データの類似検索と順序保存照合問題―……成澤和志

教育コーナー：ぺた語義

連　載：会誌編集委員会女子部／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円（税込 356,400 円）	—	—
表 3	275,000 円（税込 297,000 円）	—	—
表 4	385,000 円（税込 415,800 円）	—	—
表 2 対向	300,000 円（税込 324,000 円）	—	—
表 3 対向	265,000 円（税込 286,200 円）	190,000 円（税込 205,200 円）	155,000 円（税込 167,400 円）
前付 1 頁	250,000 円（税込 270,000 円）	165,000 円（税込 178,200 円）	135,000 円（税込 145,800 円）
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円（税込 86,400 円）
前付最終	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
目次前	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
差込（A 判 70.5kg 未満　1 枚）	275,000 円（税込 297,000 円）		
差込（A 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		
同封（A 判　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		

■「情報処理」

発　　行　一般社団法人 情報処理学会
発行部数　20,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　完全版下データ
原稿寸法　1 頁　天地 260mm ×左右 180mm
　　1/2 頁　天地 125mm ×左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm ×左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073　東京都新宿区百人町 2-21-27
アドコム・メディア（株）（Tel/Fax/E-mail は下に記載）

＊原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
＊同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，ご希望の会社名にチェック ☑ を入れ，送付希望先をご記入の上，Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください.

■「情報処理」 57 巻 4 号　掲載広告（五十音順）

□インタフェース …… 表 2
□オージス総研 …… 表 2 対向
□講談社…… 目次前
□国立情報学研究所…… 表 4
□電子情報通信学会…… 前付最終上

□ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お 名 前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤 務 先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所 在 地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

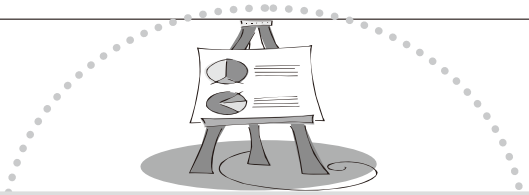
TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 アドコム・メディア（株）

Tel.03-3367-0571　Fax.03-3368-1519　E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします.
Web サイト（http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html）「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので，ぜひご覧ください.

照会先　情報処理学会　会員サービス部門　E-mail: mem@ipsj.or.jp　Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員（20 ～ 50口）

（株）日立製作所

富士通（株）

日本電気（株）

三菱電機（株）

（株）サイバーエージェント

（株）東芝

日本アイ・ビー・エム（株）

●●● 賛助会員（10 ～ 19口）

（株）リクルートホールディングス

グーグル（株）

グリー（株）

（株）NTT ドコモ

日本電信電話（株）

日本マイクロソフト（株）

●●● 賛助会員（3 ～ 9口）

NTT データ（株）

沖電気工業（株）

楽天（株）

情報サービス産業協会

NTT コムウェア（株）

（株）うえじま企画

三美印刷（株）

ソニー（株）

パナソニック（株）

（株）フォーラムエイト